



ぼうさいこくたい

2025 in 新潟

<https://bosai-kokutai.jp/2025/>

Session S37

9/7

Sun

12:30-14:00



日本災害伝承 ミュージアム ネットワーク セッション 2025

theme:

“共に取り組みたいこと・ できそうなこと”

全国の災害伝承ミュージアムから

ら、施設運用に関わる当事者の方々に集っていただきます。各位から施設と取り組みの概略情報をプレゼンテーションいただきつつ、全国のミュージアムがネットワークすることをテーマに提案などを披露していただき、意見を交換します。これらを通し、全国の災害伝承ミュージアムの全体像の把握を進めるとともに、これからの連携や連帯について、来場のみなさまと考察を深めたいと思います。

オンラインの同時配信はありません。
後日アーカイブ動画を公開の予定です。
アーカイブ公開のお知らせをご要望される方も、
下記フォームからお申し込みください。
事前事後にかかわらず、受け付けます。
<https://forms.gle/Y83PFGRN8dWYxHce8>

参加方法：

申し込みフォームからお申し込みください。
空きがあれば当日参加できます。
(当日約 10 分前より受付・入場開始の見込み)

日本災害伝承ミュージアム・ネットワーク
特設サイトからも申込フォームにリンクしています。

<https://hitobou.com/museum-network/>



form



天明3年
浅間山大噴火に
関する新しい
ミュージアムが！

来年は
東日本大震災
15年ですね。

新潟県中越地震
から21年。
ぼうさいこくたい
開催！

石川県立博物館では、
今年、能登半島地震の
文化財レスキューに
関する企画展を開催
しました。

ふたば学舎

今年は
阪神・淡路大震災
から30年でした。

名古屋市港防災センター

防災専門図書館

東日本大震災・
原子力災害
伝承館

日時：9月7日（日）12:30-14:00（90分）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

中会議室 201B

プレゼンター

ふたば学舎・震災学習ラボ室長
(神戸) **山住 勝利**

名古屋市港防災センター
センター長 **大場 玲子**

東日本大震災・原子力災害伝承館
企画事業部 事業課 学芸員 **梅津 拓斗**

(公社)全国市有物件災害共済会
防災専門図書館 司書・学芸員 **堀田 弥生**

コメンター

国立民族学博物館 名誉教授、
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
資料室 震災資料研究主幹 **林 勲男**

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長 **河田 恵昭**



全国の災害伝承ミュージアムのつながりの場づくりに取り組んでいます！

主催： 阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

連絡先＝日本災害伝承ミュージアム・ネットワーク事務局

Email: event@hitobou.com

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター事業部運営課 担当 企画 D：平林
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 西館 5 階



全国のミュージアムから有志を募り、各自の施設の紹介に合わせ、ミュージアムがネットワークすることへの期待や提案等をプレゼンテーションしていただきます。これらを参加のみなさんと共有し、全国のミュージアムがこれから共に目指すことについてなどを考えます。

プレゼンター



山住 勝利 (やまずみ かつとし) 氏
ふたば学舎・震災学習ラボ室長

1967年神戸市生まれ。
2013年より神戸市立ふたば学舎の震災学習事業に携わる。
震災学習では、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を次世代に伝えることを目的としている。これまでに約47,000人が参加した。



大場 玲子 (おおば れいこ) 氏
名古屋市港防災センター
センター長

名古屋市出身。
2008年日本科学未来館で科学コミュニケーターとして勤務後、2012年より名古屋市港防災センター勤務。現在は、施設管理責任者、防災士、学芸員として、展示制作やイベントを企画実施。



梅津 拓斗 (うめつ たくと) 氏
東日本大震災・原子力災害伝承館
企画事業部 事業課 学芸員

1992年福島県生まれ。
福島大学卒。2022年より福島県双葉町にある「東日本大震災・原子力災害伝承館」に勤務。伝承館内では学芸員として、災害を伝える資料の収集や展示業務などに従事する。



堀田 弥生 (ほった やよい) 氏
(公社) 全国市有物件災害共済会 防災専門図書館
司書・学芸員
防災科学技術研究所 自然災害情報室 客員研究員

学生時代は自然地理学を修め、巡検に勤しむ。故大矢雅彦早稲田大学名誉教授に師事し、伊勢湾台風と縁深くなる。前職の防災科研では災害資料収集が主業務で、現職の防災専門図書館では災害資料の利用に携わっており、天職と感じている。

コメンテーター



林 勲男 (はやし いさお) 氏
国立民族学博物館 名誉教授、
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター資料室
震災資料研究主幹



河田 恵昭 (かわた よしあき) 氏
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長

プレゼンターにゆかりの災害伝承ミュージアム等



神戸市立
ふたば学舎

1995年阪神・淡路大震災で、当時避難所となった旧二葉小学校校舎を活用した地域活動の拠点施設。生き抜くための知恵を学ぶ震災体験学習プログラムを提供している。

https://futabasyo.jp/



名古屋市港防災センター
NAGOYA MUNICIPAL MINATO DISASTER PREVENTION CENTER

1959年(昭和34年)伊勢湾台風を伝えるミュージアム。通常は市民が災害を学び、防災を体験的に身に付ける施設としてあり、災害時には応急対策の活動拠点となる。

https://www.minato-bousai.jp



東日本大震災・原子力災害
伝承館

福島県双葉町に所在する県立ミュージアム。2011年東日本大震災により、福島で起きた地震、津波、東京電力福島第一原発事故という未曾有の複合災害の実態や、復興に向けた歩みを展示。

https://www.fipo.or.jp/lore/



公益社団法人
全国市有物件災害共済会
防災専門図書館

「防災・災害等に関する資料の収集とその活用・発信を通じて、住民のセーフティネットとして貢献する」ことを掲げた日本で唯一の防災・災害に特化した専門図書館。1956年(昭和31年)開設。

https://city-net.or.jp/products/library/



屋外展示 006
に出展!

日本災害伝承ミュージアム・ネットワーク

全国の災害伝承ミュージアムから提供いただいた施設紹介パンフレット等を配架します。また最新版のミュージアムマップを発行、配布します。



会場: 1F サービスヤード
朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

https://bosai-kokutai.jp/2025/o-06/